

平成 29 年度 交通安全講話 校長あいさつ

皆さん、こんにちは。

今日は、交通安全講話ということで、皆さんに集まってもらいました。

講師としては、竜ヶ崎警察署から、交通課の中村祐一さんに、お忙しい中、わざわざおいでいただきました。

昨年の交通安全講話に際してもお話ししたのですが、私は子どもの頃、交通事故で弟を亡くしています。

もうずいぶん昔の話です。その時、私は中学 1 年でした。弟は小学校 3 年生でした。あれからもう 40 年以上の月日が流れていますが、それでも、私の親にとって、そして私にとって、そのことは、いまだに消えない傷となって残っています。

40 年以上経っても消えない傷。ひとつの死は、それほどに重いものなのです。

交通事故は、死に直結する大きな事態です。

どうか、そのことを重く受け止め、今日の話に耳を傾けて欲しいと思います。

今日お招きしている竜ヶ崎警察署交通課の中村さんは、竜ヶ崎南高校の卒業生です。

本校の卒業生は、龍ヶ崎市をはじめとして、この地域でたくさん活躍してくれていますが、そのような卒業生が、このような機会に学校に戻ってきてくれることは、とても嬉しいことです。

皆さん、先輩の話を良く聞いてください。

以上で、簡単ではございますが、交通安全講話の始まりの校長あいさつと致します。

平成 29 年 7 月 14 日 体育館にて

竜ヶ崎南高校長 塚本 敏雄